

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名	ホームページ管理・運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部	課長名 富加美 尚悟
体系	施策	25	行政改革の推進		所属課	まちづくり戦略室	担当者名 牧野 淳一
	基本事業	85	広聴・広報機能の充実		所属班	秘書広報班	(内線) 1232
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 2	事業連番 11042	法令根拠	成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>市政の内容を「合志市ホームページ」に掲載し、市民とその他合志市についての情報を得たい人にお知らせする事業である。ホームページ開設は、旧合志町が平成14年3月27日。旧西合志町が平成13年4月1日。合併後も、幅広く情報を提供するため平成18年2月27日新市誕生とともに合志市ホームページを公開した。旧町ホームページに比べ、文字の大きさを変えられるなど、利用しやすいようJIS規格に基づいたページとなっている。平成22年2月26日、市の子育てに関する情報を集約した「子育てサイト」を公開し、併せてホームページのトップ画面もリニューアルした。平成23年11月には、市を積極的にPRすることを目的として、来訪者により興味を持たせるようなページに変更し、カテゴリも充実させた。</p>
【業務の流れ】	<p>●業者契約の手順：ホームページ保守業者との契約の事務●情報の更新：更新は各課で掲載したい情報があるときに、情報の担当者が随時更新。操作等担当課と問い合わせ対応●システム管理：システム変更の必要が生じた場合や不具合が生じたときの業者との連絡調整●市サイト「交流掲示板」「よくある質問」コンテンツ管理、子育てサイト「給食レシピ」「CuteAngels」「休日在宅医」毎月更新●旬の情報など季節に応じた情報の発信</p>
【主な予算費目】	使用料及び賃借料(サーバ使用料)、委託料(保守料、リニューアル委託)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>議員や情報化推進委員から子育てに関する情報のページが散在しており、見にくいとの意見があった。全ての部署の情報をタイムリーに発信するようなサイト運営を行って欲しい。</p> <p>H23年11月にリニューアルし、住民からは「見やすくなった」等の意見が寄せられるようになった。</p>

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
H23年11月に公式HPをリニューアルし、市内外を問わず市の情報の発信する仕組みを強化した。トップページのレイアウト変更、動画サイトへの誘導の強化、こうした魅力(ガイドマップ)の掲載、イベント情報の発信や、より広く情報を発信するための手段として公式ツイッターの運用を開始した。	市ホームページ及び子育てサイトのシステムの管理運営。掲載情報の把握調整 積極的な情報発信のために、各課の掲載記事の充実を図りたい。記事の掲載方法や、魅力ある掲載の方法など、広報公聴会議等で検討、運用していく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: ホームページの更新件数	件 市ホームページリニューアル完了に伴う委託料の減
→ イ: ツイッターからのつぶやき件数	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民	(単位)
市に興味を持った市外の人	→ ア: 人口
	→ イ: コンテンツ「観光情報」アクセス件数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
常時最新の市政情報を知ることができる	(単位)
市ホームページのアクセス数を増やす	→ ア: トラブル件数
	→ イ: 年間アクセス件数
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
だれもが常時最新の市政情報を知ることができるようにするのがこの事業の意図である。達成度として、サーバー等トラブルによりホームページが閲覧できなくなる件数を0件とすること、およびアクセス件数を成果指標とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 件	900	2,814	2,100	3,498	3,600	3,700	3,800	3,900	
	イ 件	0	0	100	118	200	220	240	260	
② 対象指標	ア 人	54,944	55,828	55,751	56,638	56,880	56,880	56,880	57,400	
	イ 件	3,700	10,964	11,000	15,363	17,000	17,500	18,000	18,500	
③ 成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ 件	305,354	329,003	330,000	360,126	361,000	362,000	363,000	364,000	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	2,000						
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	359	302	100	334	378		
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	551	868	3,634	2,931	845	1,223	1,223
		(A) 事業費計	千円	2,910	1,170	3,734	3,265	1,223	1,223	1,223
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	7	5	5	7	4	4	4
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	1,204	1,125	1,200	1,303	1,300	1,300	1,300	
	(B) 人件費計	千円	4,791	4,635	4,944	5,261	5,356	5,356	5,356	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,701	5,805	8,678	8,526	6,579	6,579	6,579	

事務事業名	ホームページ管理・運営事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	---------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ホームページが閲覧できなくなるトラブルは無かった。 市ホームページのアクセス件数が増加した。 庁内ネットワーク推進員及び広報公聴員を通じ、原課への記事更新の働きかけを行った。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 広報紙に掲載されている情報で広く周知が必要な情報は、ホームページ掲載ガイドラインに基づき、各課広報公聴委員にホームページでも併せて情報発信するように依頼していく。トラブルがないように管理運営に努める。 また、旬の話題の提供、動画やツイッターによる市のPRを積極的に行なう。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 更新が遅いコンテンツがあるため、各課に記事更新の更なる啓発を行う。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 リアルタイムでの情報発信・受信ができなくなるため、市の情報を得ようとする人または市に情報を送ろうとする人は、いつでも・どこでも・だれでもといったサービスの提供を受けることができなくなる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事業費で行なっており、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 情報は担当課で更新しており、業務時間は最小限で行なっているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 だれもがいつでもアクセスできるもので、受益者負担は伴わない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市として情報を発信するため、当事務事業の移行はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市内外の人に合志市のことを興味を持ってもらうために、今後も動画やツイッター、こうしたの魅力などのコンテンツを活用し、市のPRや旬な話題を定期的・積極的にアップする必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						